

'10.4

毎月1回20日発行 定価 1部60円
発行所 兵庫県商工会連合会
発行人 会長 木南岩男
神戸市中央区花隈町6の19
☎078(371)1261(代)〒650-0013
http://www.shokoren.or.jp/
編集人 岡田奈良夫
印刷所 大和出版印刷株式会社
会員の購読料は会費に含んでおります

第 632 号

兵庫県 商工連会報

(題字は井戸知事)

Hyogo Prefectural Federation of Societies of Commerce and Industry



▲吉田晃社長（中央）と従業員のみなさん

◀春の風物詩「いかなごの釘煮」

Contents

- 県連合会Letter 2頁
 - ・商工会管理者研修会（第2回事務局連絡会議）
 - ・SHIFT 操作研修会
 - ・外国人研修・技能実習事業に係る研修会
- あなたのまちの元気な企業（太子町） 3頁
- 商工会Letter 4～7頁
 - ・アフリカからの研修生を受入れ（福崎町商工会）
 - ・園田学園女子大学との地域活性化事業に係る覚書調印式（丹波市商工会）
 - ・「あったか加東冬のまつり2010」（加東市商工会）
 - ・「棕の木フォーラム」を開催（たつの市商工会）
 - ・湯村温泉キャラクター「湯～たん」誕生！（温泉町商工会）
 - ・IT 経営気つき研修会（三田市商工会）
 - ・女性部PR パンフレット「はいいんされへん？」発行！（養父市商工会女性部）
 - ・平成二十一年度地域資源∞全国展開プロジェクト「TANTO-LIFE」を全国へ（但東町商工会）

太子町で地域の食材と製法にこだわり、佃煮を製造する有限会社はりま十水堂（代表取締役・吉田晃氏）。瀬戸内海に面した土地に製造工場を構え、とれたてのいかなごを高圧釜で調理し、看板商品である「いかなごの釘煮」を無添加で製造している。

「いかなごの釘煮」は神戸と播磨地方の名物で、発祥は神戸市垂水区。明石の漁師が大量にとれた「いかなご」を保存用に炊いてみたことが始まりと言われている。

同社は「いつでもどこでも、美味しいものを届けたい」をモットーに、地域ならではの味を全国の食卓に届けたいと考えている。

（関連記事 三頁）

「こだわりの商品を全国
の食卓に届けたい」
有限会社 はりま十水堂
（太子町）



▲講演を行う兵庫県立大学教授・佐竹隆幸氏

県連合会は、二月五日、神戸市・ホテル北野プラザ六甲荘において、商工会事務局代表者三十九名の参加を得て商工会管理者研修会を開催した。

当日は研修として、兵庫県公社等経営評価委員会委員長（兵庫県立大学教授）佐竹隆幸氏より「公社等の経営評価と今後の補助金交付団体のあり方」につ



県連合会は、二月四日、県商工会館にて職員を対象にSHIFT操作研修会を開催した。

SHIFTとは、簡易ホームページ作成ツールで、全国商工会連合会が、全国の小規模事業者をつなぐことを目的に構築した「百万会員ネットワーク」で利用される事業者支援システムのことである。

簡単な操作手順を覚えれば、知識がない人でも簡単にHPを作成でき、ネットショップの開設が可能となる。また、利用料も不要で、会員事業所の自社PR手段として県下商工会でより一層推進していく。



いて講演が行われた。

続いて、「第二回事務局連絡会議」を開催し、「こののとり大使」就任への周知等、県連合会からの報告事項を説明した。

また、本年四月より実施する「商工会職員の県連帰属化」について今後のスケジュール及び手続きを、事務局より説明し、意見交換を行った。

県連合会は、二月九日、県商工会館において「外国人研修・技能実習事業に係る研修会」を実施。当該十商工会から担当者十二名が出席した。

平成二年の要件緩和以来、商工会が、中小企業の外国人研修生を受け入れる際の事業実施団体となってきたが、平成二十二年七月施行の「出入国管理及び難民認定法」改正に伴い、その



▲SHIFT を操作する参加者たち

また、県女性連でも、本システムを利用し、女性部員が自社情報等を発信できるポータルサイトの構築を進めている。



▲外国人技能実習事業についての説明

責務や手続きが大きく変わることもなった。そこで本研修会は、関係法令への適切な対応策について情報交換することを目的に開催した。

まず、兵庫労働局職業安定部需給調整事業課指導係長の山下雅美氏が「職業安定法に係る職業紹介事業適用への対応、手続きについて」を説明。続いて、全国連企業支援部企業環境整備課長の佐々木淳氏が「外国人技能実習事業への取り組みについて」商工会としての対応」を説明した。

その後、県連合会の前田欣也主任チーフアドバイザーが座長となり、全国連同席の中、各地域の問題点や実態等について意見交換し、今後の課題を整理した。

安さあつて50年

パートタイマーさんにも退職金始めませんか？

短時間労働者の方のために

☆ 特別掛金月額(2,000円、3,000円、4,000円)が用意されております

☆ 国の新規加入助成金の上乗せがあります

中退共制度は中小企業で働く従業員のための外部積立型の国の退職金制度です

●くわしくはホームページで <http://chutaikyō.taisyokukin.go.jp/>

中小企業退職金共済機構 中小企業退職金共済事業本部 〒105-8077 東京都港区芝公園1-7-6 TEL (03) 3436-0151(代表) FAX (03) 3436-0400

主な行事予定

4月のこよみ

13日(水) 県女性連理事会等

14日(木) 県青連正副会長会・理事会・監事会

27日(水) 県女性連通常総会・幹部講習会等

28日(木) 監事会

5月のこよみ

7日(金) 県青連通常総会・幹部講習会

10日(月) 正副会長会

14日(金) 第一回理事会

28日(金) 第四十九回通常総会

31日(月) 全国連通常総会

あなたのまちの元気な企業 ⑬ 有限会社 はりま十水堂

〜太子町〜

事業の概要・変遷について

代表取締役の吉田晃氏は、食品加工会社を退職後、昭和三十三年に現在のたつの市で創業し、「いかなごの釘煮」を中心とした惣菜を製造している。昭和六十年には、事業を拡大するため、太子町に店舗を構え、有限会社はりま十水堂を設立した。創業当時は小さい鍋をいくつか並べていかなごを炊いていたが、大量生産するため、平成十年に網干漁港の近くに製造工場を新設した。そこで一度に四十キロの佃煮を炊ける大型の高圧釜を設え、とれたてのいかなごをすぐに調理できる体制を整



▲佃煮を炊く吉田晃社長

主な製品や今後の取り組み

看板商品である「いかなごの釘煮」は、無添加でこだわりの食材を使って丁寧に生産している。一般的には調味料にみりんや水あめを入れるが、たつの市特産の醤油とざらめ糖のみで調理しているため、魚同士がくっつかず離れやすい。新鮮なうちに炊き上げなければ、折れたりつぶれたりするため、炊く方法にもコツがある。子どもからお年寄りまで食べやすいと好評で、旬の三〜四月頃には、近隣の住人が匂いに誘われ

て、炊きたてを買いに来る。いかなごは春先に瀬戸内へ回遊してくるスズキ科の背の青い小魚で、地域ならではの春の風物詩である。とれる時期によって大きさも異なり、シヨウガ入り・山椒入り・シソ入り・ゆず入り・神戸牛肉入り等、様々な種類を製造している。

えた。

店頭販売の他に、百貨店・スーパーマーケット・観光案内所・旅館等に商品を卸している。オンラインでの販売も手がけているが、従来の通信販売での売上が最も多く、関東方面からの注文も多い。

その他にも、穴子・かき・ちりめん・柳えび・茎わかめ等、季節に応じた新鮮な食材で佃煮を製造しており、こだわりの商品をより多くの方に味わってもらうため、積極的に販路開拓していきたいと考えている。現在は姫路城を印刷した箱の採用を検討しており、播磨地域のお土産としてより一層定着を図りたい。



▲姫路城が印刷された新パッケージ

経営理念について

経営理念は「いつでもどこでも、美味しいものを届けたい」である。

輸送技術や保存技術は日を追うごとに進歩し、同社一番の人気商品である「いかなごの釘煮」も全国各地に配送できるようになった。しかし、これらの商品は気候や環境の影響を受けやすく、不漁になると値段を上げざるを得ない。昨年と一昨年はい

地域に対する思い

太子町には有名な特産品が少ないので、地域であらゆることを勉強して工夫し、太子町らしいものを創出したい。全国的に景気が低迷している時だからこそ、熱意と意欲を持って努力したい。太子町にはまだまだ知ら

商工会に期待について

商工会にはPL保険・共済・融資等でお世話になっている。商工会に加入し、小規模事業者が集まっているので、会員をまめに訪問し、率先して太子町の観光資源や名産をPRしてほしい。会員は地域のためになることであれば、喜んで参加すると思う。

アフリカからの研修生を受入れ

～福岡町商工会～

国際協力機構（JICA）から委託を受けた太平洋人材交流センター（PREX）による地域別研修「アフリカ地域中小零細企業の経営改善に向けた生産性向上」という事業が福岡町で行われ、アフリカ六カ国の政府職員や企業の代表者ら十名が、福岡町役場、福岡町商工会、もちむぎ食品センターを訪れた。

町役場では、町をPRする「フクちゃん」「サキちゃん」の着ぐるみで歓迎され、嶋田正義町

長を表敬訪問した。参加者からは「アフリカでは国が中小企業支援を行っているが、日本では地方自治体や商工会が、地域密着型の支援を行っているのが大変参考になった」との感想があった。

その後、商工会を訪問し、後藤雅一会長挨拶の後、役場、商工会等の職員から町内の案内や中小企業支援機関としての役割、地場産業の振興策等について説明があった。参加者は、町・

商工会・農協の連携による「むらおこし事業」に大変興味を示した。会場には職員手作りによる看板、各国の国旗や英語標記など、心のこもった歓迎ぶりが見受けられた。また、同町の特産である「もちむぎ」を使った商品

を製造・販売するもちむぎ食品センターでは、昼食にもちむぎを使った料理を味わい、「もちむぎ麺」の工場や製造工程などを視察した。

今年度は福岡町の他、日高町でも同機構からの視察研修を受け入れており、アジアとアフリカの研修生がポリ袋製造会社の工場の機械配置や製造過程を見学した。今後も商工会が中心と



▲特産品のもちむぎに興味津々の参加者たち

特産品開発などに若い感性を生かして 園田学園女子大学との地域活性化事業に係る覚書調印式

～丹波市商工会～

丹波市商工会（村上康充会長）では、二月八日に丹波市長の辻重五郎氏、県連合会の木南岩男会長立会いのもと、同商工会館において園田学園女子大学（尼崎市）の今井章子学長と「協同連携による地域活性化事業に係る覚書」の調印式を行った。

この覚書は、同商工会が取り

組んでいる地域資源を生かした特産品開発事業を支援するためのものである。大学と連携することにより、丹波ブランドとして高い評価を得ている素材の品質や、朝廷等へ献上してきた歴史を商品の価格に転嫁する取り組みを図る。

今後は大学で洋菓子職人や管

理栄養士を目指す若い学生の声を商品のブラッシュアップに反映し、市場性のある商品開発につなげていく。

契約期間は三年間で、丹波栗・小豆・黒豆等の食材を使ったスイーツの開発やシカ肉の特性を活かした飲食店等のメニューづくりを計画している。また、黒ゴマ、ブルーベリーなどの新しい資源の商品開発についても継続して計画的に研究を進めていく。



▲地域活性化に向けて、協同連携の覚書を交わした

わたしたちジブラルタ生命が、サポートいたします。

商工貯蓄共済制度

兵庫県商工会連合会が実施している商工貯蓄共済制度の生命保険部分はジブラルタ生命が引き受けています。



- 尼崎信用金庫
- 淡路信用金庫
- 神戸信用金庫
- 但馬信用金庫
- 但陽信用金庫
- 中兵庫信用金庫
- 西兵庫信用金庫
- 日新信用金庫
- 播州信用金庫
- 姫路信用金庫
- 兵庫信用金庫

「しんきんキャッシュカード」を利用すれば、全国にある信用金庫ATMでの入出金手数料が無料です。出先で、旅先でご利用下さい。（但し、土日・祝日・所定時間外等及び一部のATMは除きます）

熱気と盛り上がりで春を先取り！
「あったか加東冬のまつり2010」
 加東市商工会

加東市商工会（藤井悦治会長）は、寒い冬にこそ、賑わいを作り出し、人の交流による温もりと地域の魅力を再発見してもらおうと、二月十四日に「あったか加東冬のまつり2010」を開催した。地域資源の発信として始められた地元二社の酒蔵による蔵まつり会場では、搾りたての新酒と蔵見学を楽しみにしているお客様で例年以上に賑わった。

メイン会場では、会員企業の

参加も増え、特産品や地場産業など多くの出店者で活気に溢れていた。青年部によるB級グルメ試作販売や女性部の人気コーナー「ワクワクおひなさま体験」にも多くの人が集まり、加東の魅力を実験していただくことができた。また、昨年十月に発売したプレミアム商品券に付与した「お楽しみ抽選券大抽選会」を同時に開催。加東市のマスコットである「加東伝の助」も登場して、抽選会場に入りきれない



▲「加東伝の助」も見守る「お楽しみ抽選券大抽選会」

ほどの商品券購入者が集まった。年々、来場者も増えており、活気と賑わいで春を先取りするような「あったか」なイベントとなった。

棕の木を通してまちづくりを考える
「棕の木フォーラム」を開催
 たつの市商工会

たつの市商工会（木南岩男会長）では、二月二十日に新宮公民館で「棕の木フォーラム」を開催し、市内外から約六百名が参加した。

フォーラムでは、棕を使ったベンチやお菓子、絵本製作等の事例が紹介され、全国各地の農業を軸に地域活性化の研究をしている高野孟氏の講演があった。八名のパネラーによる座談会も開催され、パネラーとして

同商工会では、新宮八幡神社境内の樹齢四百年の棕の木を活かした、みんなで助け合うまちづくり活動を行っている。今回のフォーラムは、市民の参画と協働を育む意識改革を、多方面

から考えることを目的として企画した。

井戸敏三県知事と丸山和也参議院議員が参加した。両名は新宮



▲満員御礼のフォーラム会場

小学校の同級生であり、棕の木は新宮小学校旧校庭のシンボル樹だった。パネラーは棕の木や故郷への思い、地域の活性化などについて語り、約二時間の座談会は盛会に終了した。

湯村温泉キャラクター

「湯たん」誕生！

温泉町商工会



▲湯村温泉PRキャラクター「湯たん」

温泉町商工会（北村讓次会長）では、平成二十一年度地域資源∞全国展開プロジェクト事業を実施し、湯村温泉をPRするマスコットキャラクターを公募し、温泉卵をモチーフにした「湯たん」に決定した。一般公募八十二作品の中から「名物の温泉卵を愛嬌たっぷりに表現している」として選ばれた。

「湯たん」は豊岡市の会社員、西村斉敏氏の作品で、温泉街のシンボルで日本屈指の高温源泉「荒湯」の精霊をイメージしている。頭に「ゆむら」と書かれたタオルを乗せ、たるの中の湯に浸かっている。ほおをほんのりと染め、手には旅館で貸し出しサービスも行っている湯たんぽを持っている。

同商工会はキャラクター商品の製作も予定しており、湯村温泉の知名度アップを期待している。



兵庫県信用保証協会

CREDIT GUARANTEE CORPORATION OF HYOGO-KEN
<http://www.hosyokyokai-hyogo.or.jp>

〒651-0195 神戸市中央区浪花町62番地の1
 TEL 078-393-3900 (代表)

養父市商工会女性部PRパンフレット
「はいりんされへん？」発行！



養父市商工会女性部（須田節子部長）では、合併5周年の節目を迎え、広く女性部を知ってもらうためにPRパンフレット「はいりんされへん？」を作成した。女性部活動やQ&Aを掲載し、同部長は「この機会に一人でも多くの人に入部していただき、もっと個性と魅力ある女性部にしたい」と話している。

「気づき」は成長の源
I T 経営気づき研修会・SHIFT
操作体験実習研修会
三田市商工会

三田市商工会（日下隆三会長）では、二月十日に全国連、県連合会、同商工会の共催事業として、I T 経営気づき研修会・SHIFT操作体験実習研修会を開催した。

この研修会は、I T を活用した情報発信、販路開拓を考える方へ小規模企業における有効なI T 経営を推進し、研修を通じて情報発信の必要性に「気づき」をもたらすことを目的としている。

三田市商工会

午前は、I T 活用事例などについての説明があり、午後は、情報発信力の強化を目指した簡易ホームページ作成ツール（SHIFT）の導入を希望される事業所を対象とした操作体験実習を実施した。

当日は日頃パソコンに触れる機会の少ない受講者も見られたが、講師の丁寧な説明を受け、順調に受講することができた。同商工会では、事業所PRを登録できるツール「SHIFT」の導入を積極的に推進しており、このような研修会をきっかけとし、県連合会と綿密に連携を図りながら、広く会員事業所の方への周知をしていきたいと考えている。



▲SHIFT の操作を体験実習

中小企業大学校 関西校 研修のご案内

タイトル 現場改善の基本手法

日時 平成22年4月20日(火)～4月22日(木)[3日間]
対象者 生産部門のリーダー・管理者
受講料 27,000円
定員 30名
特色 ①生産部門のリーダーが持つべき視点・心構えを学びます。
②改善活動の基本として5Sや作業改善について学びます。
③生産部門の役割や企業経営との関わりについて学びます。
講師 山名 敏文 (5S経営研究所 代表)

タイトル 財務シリーズ①財務入門研修

日時 平成22年5月11日(火)～12日(水)[2日間]
対象者 ・部門を問わず、決算書や財務を基礎から学びたい方
・もう一度、財務の基本を学びたい方
受講料 21,000円
定員 30名
特色 ①決算書から企業の姿を読み取る「勘所」を学びます。
②財務分析のプロの視点を、ビジュアルにより解説します。
③倒産・成長企業から数字と経営の関連について学びます。
講師 横山 悟一 (財務リスク研究所 代表)

タイトル 能力開発シリーズ②成果を高める業務改善の取り組み方

日時 平成22年5月12日(水)～14日(金)[3日間]
対象者 職場のリーダー、管理者、管理者候補、経営者・経営幹部
受講料 27,000円
定員 30名
特色 ①社内業務を見渡し、改善策を立案する視点や手法を学びます。
②事業成果を高めるための業務改善プランの検討を行います。
③長期的成果に繋がる人事・組織面の改善プランを検討します。
講師 島ノ内 英久 (株式会社ウィレンス 代表取締役)

タイトル 営業パーソンの心構えと基本スキル

日時 平成22年5月25日(火)～27日(木)[3日間]
対象者 営業部門の若手リーダー、新任の営業担当者
受講料 27,000円
定員 30名
特色 ①「これだけは身につけたい」基本スキルと実践法を学びます。
②ご自身の理想像と、努力目標を検討していただきます。
③互いの悩みや経験談などを受講者同士で話し合い共有します。
講師 藤田 悠久雄 (有限会社ウェーブ)
波多野 卓司 (経営コンサルティング波多野事務所 代表)
若原 健二 (有限会社若原ビジネスコンサルタント 代表)

平成二十一年度地域資源∞全国展開プロジェクト「TANTO-LIFE」を全国へ

（但東町商工会）

但東町商工会（岡田重明会長）

は、平成二十一年度地域資源∞全国展開プロジェクトの採択を受け、但東町の地域資源を背景にした経済効果をもたらす仕組みづくりの一環として「但馬ちりめん」を活かした取組みからスタートした。

1、事業の経過

但馬ちりめんは、文化年間（一八〇四〜一七〇年）に丹後地方から技術が移入され、一九七〇年代には町内にある小幡織機は約千三百台を数えた。現在では海外の低価格品の輸入や和装離れにより、現存する小幡織機は約五百十台となったが、ちりめん用の小幡織機は力織機として希少性があり、職人の技術力も評



▲新たな取り組みから産み出されたオリジナルのストール、バッグ

価が高い。

これまでは、OEM（相手先ブランドによる生産）が中心であったが、兵庫県立大学経営学部、神戸芸術工科大学ファッションデザイン学科との産学連携によりマーケットへ直接投入できる商品開発を目指し、品質の良さ、デザイン、歴史ある高付加価値商品として差別化を図り、現在のマーケットにないものを提案した。また職人とマーケットの動向に敏感な地元出身の若い世代とのこれまでにない連携を図った。

2、商品開発

- ① 小幡織機で開発するテキスタイル商品（ストール等）
西脇市の播州織産地連携による小幡織機の製織技術を用いたストールを開発。
- ② 杞柳布で製作したファッションマーケット向けバッグ等『Pellma』（ペルマ）
環境に配慮した素材を活用した高品質のカバン小物を開発。
- ③ 絹ゆかた
若者向けの新たな着物として、神戸芸術工科大学の学生

とフィールドワークを行い、但東町ならではの素材（工場・自然・文化・歴史等）をデザインに採用。

3、情報発信と成果、今後の展開

東京で開催された展示会では、但東町の自然豊かなイメージを演出することに重点を置き、販促用のカタログを地元の若者と大学生を中心に製作し、「TANTO-LIFE」（たんとうらいふ）としてPRした。百貨店からは期間限定販売の提案があり、バッグはセレクトショップからナチュラル感を高く評価されている。今後も引き続き展示会への出展を重ねることで地域ブランド化を確立するために必要な情報発信を行っていく。

この一年の成果により関係者間の結束が高まり、関係者の出資による新会社「株式会社たんとうらいふ」を設立する運びとなった。今後、地域活性化の窓口として期待されている。これからのマーケットの中心である若い世代を中心に、幅広い世代の多様性を活かした地域資源で地域再生に取り組みたい。
来年度の取り組みとして、
着たい・食べたい・訪れたい
TANTO-LIFE ワクワ



▲学生の感性を取り入れた「絹ゆかた」

ク・ドキドキを楽しもうをテーマに「モノ・コト・バイ（買）ツリズム」で、地域資源を拡大し、地域活性化を目指す。
<http://www.tanto-life.com/>

労働基準法が改正されます（平成22年4月1日施行）

労働基準法の一部を改正する法律（平成20年法律第89号）の概要

(1) 時間外労働の削減

- 限度時間を超える時間外労働の労使による削減
特別条項付き時間外労働協定で、限度基準告示上の限度時間（注）を超える時間外労働に対する割増賃金率を法定（25%以上）を超える率を定める努力義務（注）例えば、1ヶ月45時間、1年間360時間など
- 法定割増賃金率の引上げ ※中小企業は、当分の間、適用猶予1ヶ月60時間を超える時間外労働について、割増賃金率を50%以上に引上げ（現行25%以上）
- 代替休暇制度の創設 ※中小企業は、当分の間、適用猶予労使協定により改正法による法定割増賃金率の引上げ分（注）の割増賃金の支払いに代えて、有給の休暇を付与することが可能に（注）例えば、50% - 25% = 25%（簡便化のために引上げ前の割増率を一律25%とした場合の例）

(2) 年次有給休暇の有効活用

- 時間単位年休制度の創設
労使協定により、1年に5日分を限度として年次有給休暇を時間単位で取得することが可能に

始めませんか～新しい環境貢献～

ひょうご「企業の森づくり」

環境への貢献のため、森林整備をお考えの企業や団体等の皆様のお手伝いをします。

- 活動フィールドの斡旋
- 森林整備についての助言・提案・技術指導
- 施業委託先の紹介

◆お問い合わせは◆

(社)兵庫県緑化推進協会
〒650-0012
神戸市中央区北長狭通5-5-18 県林業会館内
TEL 078-341-4070 / FAX 078-341-4071

兵庫県農政環境部 環境創造局 豊かな森づくり課
〒650-8567
神戸市中央区下山手通5-10-1
TEL 078-362-3144 / FAX 078-362-3954

協会けんぽにおける来年度 保険料率のお知らせ

全国健康保険協会兵庫支部

協会けんぽは、中小企業を中心として、従業員・家族3500万人が加入する健康保険です。病気になった時にきちんと医療を受けられるよう、健康保険を運営しています。

協会けんぽの健康保険料については、景気の悪化に伴い保険料収入が大きく落ち込んでい一方、医療費の支出が増えていることにより、厳しい財政状況となっていることから、大幅な引き上げを行わざるを得なくなりました。厳しい経済情勢の中ではありますが、加入者の皆様の医療と健康を支え、安心して医療のサービスを受けられるよう、このようなご負担につきまして、ご理解をいただきますようお願い申し上げます。

兵庫支部の健康保険料率は、9.36%（現在8.20%）に、また、40歳以上の方々に対する介護保険料率も、1.50%（現在1.19%）にそれぞれ引き上がります。変更された保険料の徴収は、3月分（4月末までに納付いただく分）からとなります。

【加入者ご本人の保険料増加額（目安）／年間】

年 収	【医療分】	【介護分】	【合 計】
600万円	約3.5万円	約0.9万円	約4.4万円
400万円	約2.3万円	約0.6万円	約2.9万円
200万円	約1.2万円	約0.3万円	約1.5万円

*保険料は、労使折半ですので、事業主もこれと同額の負担となります。

◆ 協会けんぽの取組み

・都道府県毎に加入者・事業主・学識経験者をメンバーとする会議を設け、地域の実情を踏まえた保健事業や医療費適正化を進めています。

*会議の日程・場所は、協会けんぽの兵庫支部ホームページに掲載しています。

・健康保険から支払われる医療費が増えると、加入者の皆様の保険料負担も増えますので、薬代の負担が少なくなるジェネリック医薬品（後発医薬品）の普及や、医療機関や薬局、整骨院、加入者などからの保険請求が誤っていないかなどの審査を強化しています。

・加入者の皆様の健康を守るため、健康診査や保健指導に取り組んでいます。